

農作業コツのコツ

【第9号】

令和3年6月19日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

早生

幼穂形成期まで間断かん水を行いましょ

水稻の生育は、概ね平年並みに回復してきています。

- ①水稻早生品種の幼穂形成期は、とみちからが6月23日頃、五百万石が6月28日頃と予想されます。
- ②コシヒカリ、てんこもり、直播栽培は茎数が急激に増えてきています。**中干し**を行い、数回に分けて徐々に干しあげましょう。

水稻の生育状況

(6月15日：福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名	田植日		草丈 (cm)		株当たり茎数 (本)		葉齢 (葉)		葉色		幼穂形成期予想 (幼穂長 2mm)		
	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	
とみちから	5/3	5/3	43.4	45.6	29.6	24.6	10.0	9.8	4.4	4.4	6/23	6/24	
五百万石	5/2	5/3	37.8	39.0	19.8	19.4	10.1	10.4	4.4	4.5	6/28	6/26	
コシヒカリ	5/14	5/13	33.4	36.4	15.6	18.7	8.7	8.7	4.2	4.3	—	7/10	
てんこもり	5/7	5/8	27.9	32.0	17.3	26.7	9.2	9.5	4.6	4.4	—	7/13	
密苗	コシヒカリ	5/14	5/15	32.3	31.5	16.4	19.1	8.2	8.4	4.3	4.2	—	7/13
	てんこもり	5/8	5/10	30.6	30.0	29.1	26.7	9.0	9.5	4.3	4.3	—	7/13

(調査筆数：とみちから2筆 五百万石2筆 コシヒカリ3筆 てんこもり2筆 密苗コシヒカリ3筆 密苗てんこもり1筆)

水稻

1 水管理

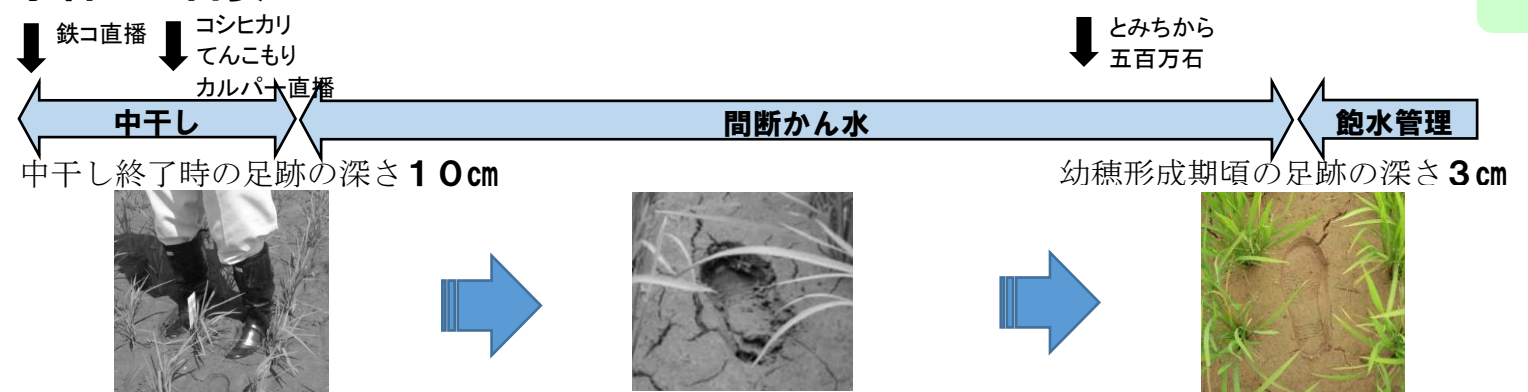
(1) とみちから、五百万石

- ・**間断かん水**を徹底し、根に水と酸素を十分に供給しましょう。
- ・幼穂形成期までに足跡の深さが3cm程度となるよう、徐々に田面を固めましょう。

(2) コシヒカリ、てんこもり、直播

- ・まだ中干しを始めていない場合は、速やかに**中干し**を実施しましょう。
- ・中干しは、田の中央部分にも軽く亀裂が入り、くるぶしまで沈む程度で行いましょう。
- ・中干し後は、入水と軽い田干しを繰り返す**間断かん水**を行いましょ。

○水管理の目安



2 穂肥施用

(1) とみちから

①肥効調節体系 (基肥：LPs とみちから専用) の場合

- ・原則、穂肥の施用は不要です。
- ・ただし、**葉色4.2**を下回ったら直ちに**追肥3号**を10a当たり**10kg**施用しましょ。

②分施肥体系 (基肥：基肥555) の場合

1回目穂肥は**幼穂長1mm頃** (5月2日田植えで6月21日頃) に施用しましょ。

○とみちからの穂肥施用の目安

施用時期	1回目	2回目	3回目
	幼穂長1mm時	1回目の7日後	2回目の7日後
10a 当たり施用量 (使用肥料：追肥3号)	13kg	15kg	15kg

中生・晩生

中干しを行い、稲体を健全化しましょ。

(2) 五百万石

①**肥効調節体系**（基肥：L P s 五百万石専用）の場合
原則、穂肥の施用は不要です。

②**分施肥体系**（基肥：基肥555）の場合
必ず幼穂長を確認し、**1回目穂肥は幼穂長10mm頃**（5月3日田植えで7月3日頃）
の時期に施用しましょう。

○五百万石の穂肥施用の目安

施用時期	1回目	2回目	1回目穂肥時の目安	
	幼穂長10mm時	1回目の7日後	葉色	茎数
10a 当たり施用量 (使用肥料：追肥3号)	13kg	15kg	3.8～4.0	20本/株

3 雑草防除

- ・ノビエ等の残草がある場合は、下表を参考に除草剤を6月末までをめぐりに遅れずに散布しましょう。
- ・使用時期や回数など詳しくは、「営農とくらし」P42～49を参照してください。

適用雑草	薬剤名	使用時期		収穫前日数	散布時の水の状態
		移植	直播		
ノビエ	クリンチャー1キロ粒剤 (1.5kg/10a 散布)	ノビエ5葉期まで	ノビエ4葉期まで	30日前まで	湛水
	トドメMF1キロ粒剤	ノビエ5葉期まで	ノビエ4葉期まで	50日前まで	湛水
	トドメMF乳剤	ノビエ7葉期まで	ノビエ6葉期まで	50日前まで	湛水又は落水
ノビエ 広葉雑草	ワイドパワー粒剤	ノビエ5葉期まで	ノビエ4葉期まで	60日前まで	落水又はごく浅水
	トドメバスMF液剤	ノビエ6葉期まで		50日前まで	落水又はごく浅水

カメムシ斑点米の発生防止のため、水田内の除草と畦畔等の草刈りを徹底しましょう。

4 病害虫防除

- ・葉いもち、紋枯病の病斑が見られたら、下表を参考に防除を行いましょう。
- ・紋枯病は、前年発生が多かったほ場での防除を徹底しましょう。
- ・防除の際は、周辺作物や住宅への飛散防止に努めましょう。

病害虫	防除薬剤名	防除時期	使用時期	使用回数	10a 当たり散布量
葉いもち	ブラシン粉剤 DL	病斑を見つけ たら直ちに	収穫7日前まで	2回以内	3～4kg
	ブラシンフロアブル				60～150ℓ(1,000倍)
紋枯病	バリダシン粉剤 DL	穂ばらみ期 (幼穂形成期から 10日後頃)	収穫14日前まで	5回以内	3～4kg
	バリダシン液剤 5				60～150ℓ(1,000倍)

大豆

1 培土

5月下旬播種のは場では、1回目の培土時期となっています。
確実にいきましょう。

○培土の時期と高さの目安

- 1回目は本葉2～3葉期 → 子葉が隠れるまで
- 2回目は本葉4～5葉期 → 初生葉が隠れるまで

2 溝の手直し

- ・培土後、培土でできた溝と額縁排水溝を確実に連結し、排水対策を徹底しましょう。
- ・降雨の後に、溝に水が停滞している場合は、**溝の手直し**や**排水口の掘り下げ**を行いましょう。

